

## 計画事業に係る事後評価記載様式(最終年度)

### I 総合評価

地域の主体的な取組みと創意工夫による公共交通の活性化・再生を通じ、個性豊かで活力に満ちた地域社会実現に寄与するために適切な事業を選び出し、当該事業を本格実施する環境を整備したか。

地域公共交通会議(法定協議会)および地域部会を必要に応じて開催し、市内公共交通を活性化するための検討を行い、その結果を踏まえて、公共交通空白地帯、小中学生の通学の便や高齢者の通院、買物を考慮した路線などを実証運行した。その問題点の検証、路線の見直しの検討に実施、料金の適正な設定(均一化や一部ゾーン制の採用)を行うとともに、連携計画及び総合計画、過疎計画に基づき財源の検討・確保等を行い、当該実証運行路線を本格運行する環境の整備を行った。

### II 計画事業の実施

- ① 事業計画に位置づけられた事業が適切に実施されたか。事業計画に位置づけられた事業が事業計画どおりに実施されなかった場合には、適切な理由等が明らかにされているか。

総合事業計画において、作手線の昼前後の便の実証運行、作手地内の公共交通空白地を巡回するつくであしがる線の実証運行、西部線、塩瀬線の実証運行、共通チケットの導入、ラッピングバスの導入を位置づけている。作手線においては、平成20年度に2,135人、平成21年度は1,858人、今年度は11月までに1,364人が利用し、11月までの昨年同月比で約18%の増となった。西部線については平成20年7月から実証運行を開始し20年度は2,352人、平成21年度は3,086人とほぼ増減なく推移してきたが、今年度は11月までに3,027人と昨年度一月当たり比で約35%の増となった。適宜、路線・ダイヤの一部変更を行い、利用者目線に立った路線ができつつあると認識している。塩瀬線は平成20年10月から実証運行を開始し、20年度は2,542人、21年度は4,400人と一月当たり比で14%減であった。今年度の11月までは2,969人で昨年度とほぼ同数で推移している。塩瀬線の主な利用は小中学生の通学であり、児童生徒数の減少が影響したと推察される。共通チケットについては、周知がされつつあり、1,000円券の月当たりの販売枚数は20年度は94枚、21年度には113枚、22年度(11月末分まで)は136枚と着実に販売枚数を増やしている。さらに、平成23年1月からは市商工会のカード事業部と提携し、カードの利用ポイントで共通券を交換できるようにし、商業の振興と併せバス利用の促進も目指している。ラッピングバスの導入については平成20年度につくであしがる線、守義線、平成21年度に塩瀬線、今年度は豊鉄バス株式会社の新豊線、Sバス北部線に導入した。特にSバス北部線には地元小学校のバス通学児童の絵を採用したことから地域に愛されるバスになった。事業は計画通りに行われ、実証運行は4路線で実施された。特に、作手線は平成22年10月1日から運行ルート、運行ダイヤ、運賃の変更(距離制からゾーン制に変更)を行い、作手地域住民の通学、通院、買い物のアクセス向上を図ることができた。

### III 具体的成果

- ① 定められた評価方法・評価基準にしたがって、評価事項について事業を評価したか。その際、事業の効果・影響とそれ以外の効果・影響を分離して評価したか。

実証運行路線は、月別の推移で事業評価を行うこととし、毎月ごとの利用者数をバス事業者から報告をさせ、計画どおり事業評価を行った。また、実証運行路線である西部線の利用者に昨年度に引き続き、満足度調査のアンケートを行い、利用者意識の把握に努めた。また、塩瀬線と布里田峰線(塩瀬線との連絡路線)の乗降調査を行い、民間バス事業者の路線の乗降調査と併せ検討を行い、より使い勝手の良い路線を作っていく予定である。

- ② 実施した事業が地域公共交通に関する目標を達成するために適切な事業であるかどうかを検証したか。

実証運行路線については、朝夕の小中学生の通学の足として、また高齢者の通院、買物の足として利用され、サービス対応率の向上が図られており、適切な事業であると判断する。特に、西部線については交通空白地を埋める路線として実証運行が開始された後、沿線地域の住民組織「守り育てる会」の意見を取り入れながら、病院への乗り入れなどの路線変更等を行った結果、利用者数が増加傾向にあり、適切な事業とすることができたと判断する。また、今年度に行った一般市民5,000人を対象にした住民アンケート(回収率42.3%)では、「通学や生活の足としての公共交通機関等の充実」の項目で、満足度が5年前の32.1%から37.1%に4.9%上昇している。

\* 必要に応じて、参考資料を添付して下さい。

#### IV 自立性・持続性

##### 1 事業の本格実施に向けての準備

###### ① 実施した事業を本格実施するにあたって問題点があるかどうかを検証したか。

実証運行については、本格運行に向けて、今以上の利用者数の増加を図ることが課題である。そのためには、利用者アンケート、聞き取り調査、乗降調査などから、利用者や地域の意見を把握し、ダイヤやルートの見直しを図ることが必要である。

##### 2 事業の実施環境

###### ① 当該事業の本格実施のための財源について検討を行い、財源の目処がついたか。

来年度において、本格運行を実施するに当たっては、市財政当局に公共バス運行事業の必要性を説き、新年度予算案を提出し、平成23年3月議会で審議をしていただく予定である。幸い、公共バス運行事業は市総合計画においてA判定事業とされ、優先的に予算配分を受けられる状況であり、市議会においても公共交通の重要性は理解がされている状況である。しかしながら、市の財政状況は厳しく、実証運行で得たデータ等を示しながら事業の必要性の理解を得ていく予定である。

###### ② 住民等による自主的な利用促進、啓発等の活動や協賛金拠出への協力等当該事業を本格実施する環境を整備したか。

地域住民で組織された「つくであしがる線を守り育てる会」では、毎月の定例会を始め、季節ごとのかわら版の作成などを行い、利用者増に繋げている。「西部線を守り育てる会」では、地域の声を踏まえて協議し、路線の変更などに反映した。協賛金については、企業、大規模商店、個人病院等、運行ルート沿線でのPR等が必要であるが、小規模集落を結ぶ路線が多く、また対象となる企業、大規模商店が少なく、現状では難しい状況である。こうした中、来年度の本格運行に向けて、バス利用者増を図るために、市商工会カード事業部と連携をし、カードの利用ポイントで共通チケットを交換できる事業を平成23年1月から実施したところである。

<b>V 住民の参加等による地域関係者の実質的な合意形成</b>
① 協議会における審議事項が明確に定められ、計画事業の進め方、実施状況について審議される体制となっていたか。
法定協議会の設置要綱により、地域の実情に応じた適切な運送形態、料金に関する事項、公共交通政策の推進に関する事項、会議の運営方法を協議することが定められている。また、各路線に関するさまざまな審議は、連携計画で位置づけられた地域部会において、地域の実情に詳しい委員により行われ、協議会に提案される仕組みが確立されている。また、今年度の第2回協議会において、来年度における実証運行路線の本格運行決定についての方針が了承されたところである。
② 協議会に住民が参加したり、住民の意見が反映される仕組みが設けられていたか（公募制、住民意向調査等の実施が協議会の運営要領において定められていたか。）。
法定協議会の構成員は、利用者代表や老人クラブ、小中学校PTA関係者が含まれている。また、下部組織の地域部会では地元住民代表が意見を交わし、要望を提起している。路線ごとの「守り育てる会」は、より地域に密着した組織としてバスのPRや利用促進について協議を重ねていることから、住民の意見は常に反映される状況にある。
③ 計画事業を実施するにあたって協議会が適切に開催されていたか。
8月に第1回協議会を開催し、作手線の運行形態に変更等の協議を行った。第2回協議会は平成23年1月に開催し、実証運行路線の利用状況等の報告を行い、事後評価、次年度以降の本格運行について協議を行い、了承を得た。また、地域部会は2回、守り育てる会は合計11回開催されている。
④ 協議会の議事が傍聴、議事録や関係資料の公開等によって適切に開示されていたか。
会議の傍聴は原則可能であり、実際の傍聴者もあり、オープンな形で開催されている。また会議内容は会議終了後、市ホームページに掲載し公表している。
⑤ 地域公共交通に関する目標を達成するために適切な事業を本格実施することについて地域関係者の実質的な合意が形成されたといえるか。
法定協議会において計画事業の内容、実施した計画事業に係る結果の取りまとめ及び自己評価報告案が報告・審議され、4つの実証運行については、来年度は国費による支援なしで本格運行を実施する提案が行われ、本格運行の実施について関係者の合意形成が行われた。

\* 必要に応じて、参考資料を添付して下さい。

以上の事後評価の内容につきまして意見等がございましたら、平成23年1月26日（水）までに下記の事務局（新城市役所行政課）へご連絡をお願いします。

皆様からの意見を調整した後、国土交通省中部運輸局へ提出いたします。

**【連絡先】**

新城市地域公共交通会議事務局（新城市役所行政課内）

電話 0536-23-7611 FAX 0536-23-2002

Eメール gyousei@city.shinshiro.lg.jp